

「ひろみちゃんとゆみちゃん」を学しゅうして

吉井小学校 二年

まちだ
町田 ゆうや
結哉

(敬称略)

ぼくは、「ひろみちゃんとゆみちゃん」をべんきょうして、本とうのなかまは、つらいときやくるしいときもそばにいてはげましてくれたりささえたりしてくれる人だとわかりました。

ぼくは、とおるくんやよしおくんのように友だちをばかにしたり、からかったりする人にはなりたくはありません。

ひろみちゃんやゆみちゃんのように、友だちをはげましたり、いっしょにがんばったりできる人になりたいです。

ぼくには、なかよしの友だちがいます。休みじかんには、いっしょにサッカーをするのがたのしいです。

でも、一年生のはじめのころは、ボールあそびをするのが手がだったので、いっしょにサッカーあそびをすることができませんでした。いっしょになわとびをしたり、おりがみあそびをすることはできましたが、サッカーはボールがはやいのがこわくて、

「入れて。」

と、言うことができませんでした。

そのときは、みんなといっしょにサッカーがしたいなあと思っていました。いっしょにサッカーができなくて、かなしかったです。

だから、いえでおかあさんやおとうさんとれんしゅうしたり、学校の体いくでボールけりのれんしゅうをしたりしてがんばりました。

一年生のふゆに、だんだんとボールがこわくなくなつて、

「ぼくも入れて。」

と言ってみました。みんなはにこにここと、

「うん。いっしょにしよう。」

と言ってくれました。いっしょにサッカーができたとき、とてもうれしかったです。今は休みじかんにはいっぱいっしょにサッカーができます。

ぼくは、もしぼくのような子がいたら、

「いっしょにしよう。」

とこえをかけていっしょにあそびたいです。